



さくらんぼ通信

～山本みわ活動報告～

2010年 春号
第3号

編集・発行 山本美和 〒305-0035 つくば市松代2-21-10 TEL029-854-7676
E-mail miwa_tsukuba@ybb.ne.jp ブログ http://miwa.livedoor.biz

女性特有のがん無料検診継続決定！（つくば市）

大好きなつくばの未来
あなたと一緒に
つくりたい

昨年、公明党女性局が提案し導入された女性特有のがん無料検診ですが、国の補助金が半分に減られる中、つくば市では 22 年度も継続して実施することになりました。

【対象者】 ※平成 22 年 4 月 1 日時点で

子宮頸がん検診⇒20・25・30・35・40歳の方

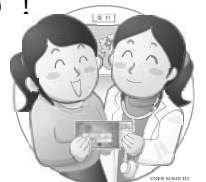
乳がん検診 ⇒40・45・50・55・60歳の方

無料クーポンが、秋頃、お手元に送られてきます。



乳がん・子宮頸がんは早くみつけて治療すれば治るがんです。年々、乳がん・子宮頸がんにかかる方が増えています。他人ごとではありませんね。

全員の方に無料検診を受けていただくには最低 5 年は必要です。来年度以降も続くように市・国に働きかけてまいります！

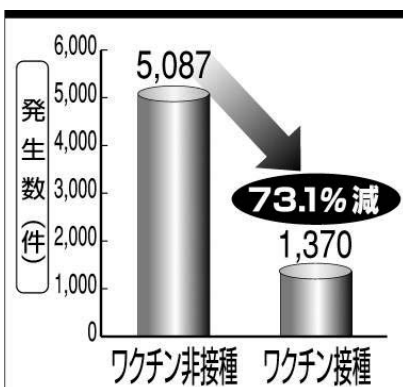


子宮頸がん予防ワクチンって？

女性の健康を守るため、子宮頸がん予防ワクチンへの公費助成を表明する自治体が、全国に広がっています。

子宮頸がんは、日本で年間約 1 万 5 000 人が発症し、約 3 5 0 0 人が亡くなると推計され、発症・死亡する女性がどんどん低年齢化しています。

検診と予防ワクチンの接種で、ほぼ 100%防げるため、ワクチンは世界中で広く使われています。日本で 1 2 歳女子にワクチンを接種した場合、発生を年間約 7 3 . 1 % 減らせるとのデータがあります。【グラフ参照】。



公明党は、同ワクチンの早期承認について首相への要請や署名活動で推進したほか、接種費用への助成についても強く主張！

日本では、昨年 1 0 月に厚生労働省がワクチンを承認し、1 2 月に発売が開始されました。しかし、接種費用が 1 回 1 万円超で、3 回の接種が必要なため、公費助成が強く求められています。

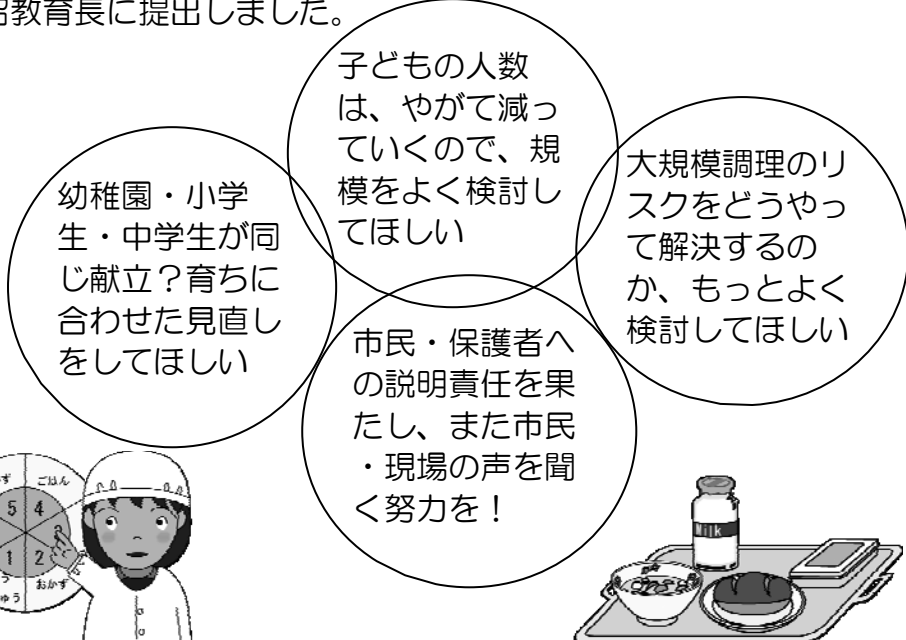
残念ながらつくば市ではまだ実施検討されていません。

学校給食センターに関する要望書を提出！

3月17日、公明党つくば市議会（会派代表：小野泰宏市議）は、「学校給食センターの適正で適切な計画の検討を求める要望書」を柿沼教育長に提出しました。



柿沼教育長に要望書提出
2010. 3. 17



TX開発により児童・生徒数が増え、給食数が足りなくなります。また、老朽化対策、衛生基準へのレベルUPのため、市は6つのセンターを集約し、新たに12000食の給食センターを2棟建設する計画案を発表しました。

3月議会、こんな質問しました

○女性特有のがん対策について

昨年6月、9月議会と取り上げてきた女性特有のがん対策。無料検診の実施により、市の受診率は乳がん検診3.9%⇒14.6% 子宮頸がん検診7.3%⇒10.3%と増加しました。22年度は更に受診率50%目指し、どうやって推進していくのが課題です。市からは「つくばピンクリボンフェスティバル」へブース設置や、健康マイレージ事業などと共に取り組むとのこと。また合わせて『子宮頸がん予防ワクチンの公費助成』を強く訴えました。

○ペットと共生するまちづくりについて

ペットは私たちの生活に安らぎや潤いを与えるかけがえのない存在となっている反面、ペットに対する苦情も数多くあるのが現状です。ペットを取り巻く環境を向上させるために、行政としてできる「啓発と知識の伝達」を見直し、更なる動物愛護とマナー啓発・情報提供を！訴えました。

○つくば市学校給食センター施設整備計画について

○完全米飯給食の導入について

子どもの健康を第一に考えた給食、つくばの地産地消を活かした給食について市の考えを伺いましたが、「努力している」との回答。

いちばん近くで、
動く、動く



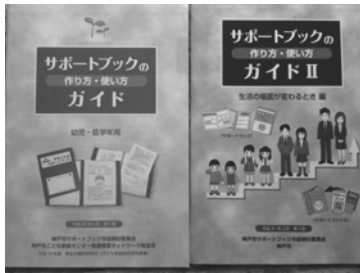
©NEW KOMETO

"ブログにて日々の活動報告をしています。ぜひご覧ください"



山本みわ 議員活動日記
<http://miwa.livedoor.biz/>

発達障害児支援を考える



神戸市では「サポートブック」を活用して、幼児期から就労時まで一貫した支援を実施

神戸市の先進的な取り組みを視察(公明党派)してきました。早期発見・早期療養、大人への支援体制、そして支援をつないでいくことに主眼をおいた取り組みに学ぶものは大きかったと思います。

近年、発達障害についてクローズアップされています。学習や行動に問題がある児童について、単なる親のしつけの問題や、性格の問題と思われてしまっていたことが、研究が進んだことにより、**脳の機能的な障害**が原因ということがわかってきました。知的には問題ないものの、発達障害児にとっては学校生活に馴染むのは非常に難しく、いじめや周囲の理解不足から度重なる叱責を受け、その結果、うつ病やひきこもりなどの2次障害を抱えてしまうこともあります。このような子どもたちは、実に6%にも上るといわれています。市内の小中学校でも多くの子どもたちにその特徴が見られています。

発達障害は早期発見が大切ですが、ただ発見をすればよいわけではなく、具体的な早期の対応が必要となります。

つくば市においても、日本一の教育都市への取り組みの一環として、一人ひとりが生きるための力を身につけることのできる教育を実現できるよう支援の手を差し伸べることが重要です。

多くの発達障害児が学校で学んでいるという事実を知り、気づき、理解していくことが急務です。

つくば市議会では、現在、議員勉強会(事務局：山本美和)を立ち上げ、定期的な勉強会を開催し、教育現場の視察、市民や専門家からの課題の聞き取り等を交えた活動を行っています。

つくば市の高齢者在宅福祉事業

主に高齢者のおひとり暮らしの方・高齢者だけでお住まいの方

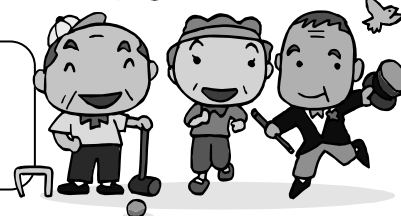
高齢者タクシー券
初乗り運賃分がタダに！

すけっとくん
日常生活のお手伝い

元気！

生活支援配食サービス事業
1食400円
(生活保護世帯は300円)

ふとん丸洗い乾燥事業
年3回まで



©NEW KOMETTO

70歳以上の方だれでも
あんま・マッサージ・はり助成
1000円券8回分のみ

対象要件がそれぞれ違います。他にもサービスがあります。くわしくは高齢福祉課在宅福祉グループにお問い合わせ下さい。

つくば市役所029(836)1111

公明党のひとくち実績



6月議会のお知らせ

新庁舎で開催される6月議会です。
誰でも傍聴できます。是非いらしてください。

6月1日(火) 10時